

来年は創業 60 周年 感謝を込めた企画を続々実施！

1958 年（昭和 33 年）に用賀の地から用賀・二子玉川地域に新聞をお届けし始めて来年で 60 年。人というと還暦を迎えることになります。時計では 60 といえばちょうど 1 周。新たな周回に向けて来年 ASA 用賀・二子玉川は購読者の皆様に日頃の感謝を込めた企画を考えております。続々と展開される企画の詳細はこのフレンドリーコムや折込みチラシでご案内します。ご期待ください！

続・蛇崩川緑道を歩いてみる

前回、三軒茶屋から弦巻まで歩いてみた「蛇崩川緑道」今回は、三軒茶屋から目黒川と合流する蛇崩川の終点の地、中目黒まで歩いてみました。弦巻までが直線的な緑道であったのに対して中目黒まではその名の通り蛇が崩れて蛇行している様子を彷彿とさせる緑道でした。途中、神社を散策したり公園で休んだりしても 2 時間～2 時間半の行程です。ただ、現在一部区間が修復中なので工事が終了する来年 3 月以降の桜の季節に散策するのがおススメです。体力錬成も兼ねて是非歩いてみてください！



緑道の入口は三軒茶屋病院横



真直ぐ緑道が伸びています



すぐに正一位伊勢丸稲荷大神に出逢います。小さいながら格式あり



稲荷の先は通行止め。残念！



日大のところから復活します



何気ない小さな祠があったりします。ちょっと太めのお稲荷さんが



休憩ベンチもたくさんあります



お子様と一緒に散策しても OK



桜並木。4 月が楽しみです



赤い橋が見えてきました一体これは？

* てくたく刀サッチ #54 「静嘉堂文庫」岡本 2-25 *

小鳥のさえずりとヒマラヤ杉に囲まれ、青銅の屋根とスクラッチタイル貼りの静嘉堂は異国的な情緒を醸し出しています。明治期に東洋文化の散逸を怖れた岩崎弥之助とその嗣子小弥太によって多くの文化財の収集が行われました。当初は岩崎家邸内に文庫を設けられましたが、大正 13 年に現在地に整備されました。文庫には国宝「源氏物語濤標屏風」「耀変天目茶碗」等に代表される 5 千点に及ぶ和漢の古美術品や国宝「倭漢朗詠抄」をはじめとする凡そ 21 万冊の古典書が収蔵されています。また、当時の著名な建築家の設計による建築物は建築学上貴重なものです。なお、豊かな自然を利用して、毎年夏にきじの放鳥を行っています。坂道を登りますがとにかく建物は一見の価値あります。





駒繫神社です。駒繫と書いて「こまつなぎ」と読みます。ご祭神は「大国主命」。源頼朝が戦勝祈願した源氏ゆかりの神社です



蛇崩川に架かる「神橋」



迫力ある狛犬が迎えてくれます



テレビのロケにも使われる神楽殿



大国主命の石柱



起伏が楽しい駒繫公園



目黒区に入ると道の造りが変わります



花壇の花が歩きの疲れを癒します



蛇のように蛇行する緑道



目黒区内は橋ごとに生き物のオブジェがお出迎えしてくれます。なんでこの生き物が選ばれたかは定かではありませんが楽しみのひとつです



キリスト兄弟団目黒教会



目黒区立上四児童遊園



東急線が見えてきました



高架下の店舗の下を流れます



東横線に沿って進みます



山手通りを渡ってビルの間を抜けます



目黒川と合流しました。終着です



合流点遊び場という名の遊び場



ご自宅まで配達します！ 2017年
アサッチのオススメ本！ 11月

月刊 ジュニアエラ 2017年12月号 定価：490円（税込）

ネット時代の偽ニュースの見分け方

- ・スマホの普及で誰もが発信できる時代に
- ・世界的に偽ニュースの時代
- ・偽ニュース事件簿
- ・先生教えて！「どうしたら偽ニュースを見分けられるの？」